昭和31年9月21日第3種郵便物認可

広報ひゅうが

1970　1月号　No. 176
発行所　日向市役所
編集人　総務課　秘書広報係

日向市長
児玉袈裟雄

昨年は、おかげさまで市の総合計画もでき、また南九州経済開発の拠点となる日向臨海工業地帯も整備されて、工業立地の具体的な方向もきまり、各種工場の建設も逐次その軌道にのってまいりました。

しかしながら農林漁業、その他一般中小企業に従事されているかたがたの生活水準を高めるためには、なお多くの問題がございます。

ことしもひきつづき教育施設の充実、道路交通網の整備、生活環境の改善につとめ、名実ともに九州の海の玄関たるにふさわしい近代的な観光都市づくりをすすめる中で、これらの仕事を地場産業の振興に結びつけ、また美々津国営パイロット事業を積極的に推進して農工併進の基礎をつくること。さらには大王谷特別開発計画を策定して、新しい未来のために勇気と根性をもって行政水準の向上をはからなければなりません。

来年は市政執行二十周年を迎える日向市であります。

希望と若さにあふれ生き生きと真に充実した日々でありますよう各位のご指導をお願いする次第でございます。

飛躍の1970年

○……とじておくと便利です……○

昭和31年9月21日第3種郵便物認可

大きく伸びた市の台所

予算は十二億三千六百万円に
公害対策審議会の設置も

昭和四十四年十二月定例市議会は、さる十二月六日から会期を八日間とし十三日まで開かれた。

こんどの議会に提出された議案は、日向市一般会計補正予算や公害対策審議会条例の制定、都市計画審議会条例の制定など十一議案で全部原案どおり可決承認されました。

では次に、その内容について主なものをお知らせしましょう。

亀崎土地区画整理事業など予算追加が四千三百万円

日向市一般会計の補正予算は、十一億九千二百七十五万九千円にこんどの議会で四千三百三十万九千円が追加され、歳入歳出ともに十二億三千六百六万八千円になりました。

追加された予算の歳出のうち主なものをひろってみますと

○財産管理費の二百三十四万円。
これは春原土地区画整理地区内の埋立工事費などです。

○養護老人福祉費の百六十四万円
これには一般家庭で、寝たきり老人に貸与する特殊寝台の購入費など組まれています。

○扶助費の千四百万円。
まずしい家庭への生活保護扶助費の追加です。

○農業振興費の二百七十七万円。
これは稲作特別事業への補助金

○道路新設改良費の七十四万円。
花ケ丘通線の道路改良費です。

○亀崎土地区画整理事業費の六百五十万円。
現在千五百五十万円で亀崎地区の区画整理事業が進められていますが、この事業への追加で、主なものは工事費の三百万円、補償費などの三百四十三万円で

市営住宅が近く完成
入居者を募集中

いま櫛の山に五階建て一棟と、二階建て一棟の市営住宅が建設されています。

工事も順調に進んでおり、近く完成の予定です。市では完成に先きだってこの住宅への入居者を次のとおり募集することにしましたご希望の方は市総務課管財係までお申し込みください。

▼募集期間＝一月十六日～一月二十六日まで

▼住宅の内容と家賃＝①第一種住宅、戸数三十戸（五階建）、三室台所、便所、ガス風呂付きで家賃は五千円程度。②第二種住宅、戸数十二戸（二階建）、二室、台所便所、ガス風呂付きで家賃は四千円程度。

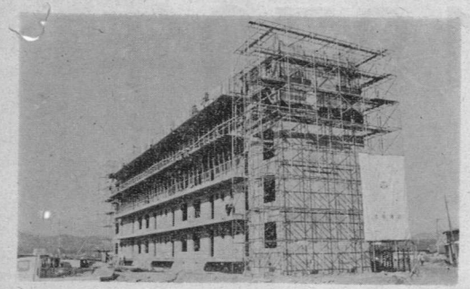
▼入居資格＝①第一種住宅については扶養家族一人につき三千円を控除した月額収入が二万四千円以上四万円までの人。②第二種住宅については扶養家族一人につき三千円を控除した月額収入が二万四千円以下の人。③現在住宅に困っていることが明らかな人。④現在同居し、また同居しようとする親族があること。

申し込みの用紙は市総務課に準備してあります。

都市計画の相談機関

またこのほか都市計画行政の円滑な運営をはかるため都市計画審議会もおくことになりました。

これは、市が定める都市建設の計画や意見を審議し、秩序ある町づくりの方向づけをします。



こんどの議会で、日向市公害対策審議会条例が制定され、この中で公害対策審議会がつくられることになりました。

この審議会は学識経験者や市議会議員、商工業者、農林漁業者、市内の公共団体の役職員、関係行政機関の役員など市民の代表二十人以内で組織し、市内の公害対策についてつねに基本的な調査や審議を行ないます。

そして問題点があれば市長にその意見を述べ、行政の上で指導解決をはかってゆきます。

またこの審議会を中心に日向市公害防止条例を検討し、日向市を公害のない住みよい工業都市にしてゆく考えです。

多くの企業の進出が予想される本市で、この審議会の活躍に期待がよせられます。

公害防止にのりだす
公害対策審議会をつくる

こんどの議会で、日向市公害対策審議会条例が制定され、この中で公害対策審議会がつくられることになりました。

この審議会は学識経験者や市議会議員、商工業者、農林漁業者、市内の公共団体の役職員、関係行政機関の役員など市民の代表二十人以内で組織し、市内の公害対策についてつねに基本的な調査や審議を行ないます。

そして問題点があれば市長にその意見を述べ、行政の上で指導解決をはかってゆきます。

またこの審議会を中心に日向市公害防止条例を検討し、日向市を公害のない住みよい工業都市にしてゆく考えです。

多くの企業の進出が予想される本市で、この審議会の活躍に期待がよせられます。

総事業費は二千二百万円になりました。

○並木街路費の百万円。
こんどの議会ではじめて組まれたもので、市内の道路に草木を植え、緑の日向市にしようとするものです。

このほか小学校の防犯灯設置費など二百二十五万円が追加されました。

もしや誘かい魔かも…

むかしは「人に道をたずねられたら親切に教えてやりましょう」というような教育をうけていました。

しかし、現在の世相の中では、「道がわからなかったらそこの交番におたずねください」というような指導を行なっている学校もあるようです。

というのも、最近こういった手口による幼児誘かいがあまりにも多くなったからです。

警察署でも次のことを呼びかけています。お隣りどうし、班どうし、協力し合ってかわいい子供を凶悪の手から守ってあげましょう

▼おとなが注意すること▲
①いつも子供の監護を怠らず、公園や遊園地で遊ばせるときは、必ず責任者をつけ一人遊びはさせないこと
②子供だけ家において外出しない③子供を欠校（園）早退させる場合は学校（幼稚園）とよく連絡をとり、登下校時間が予定より遅れるような場合はすぐ連絡をとり確認すること。

▼子供へのしつけ▲
①知らない人から誘われても絶対ついて行ったり、車に乗せてもらったりしない。
②知らない人から道を聞かれてもその場で必要なことだけ教え、道案内はことわる。
③外出するときは、行先、帰宅時間を家の人につげておき、必ずそれを守る。

また時間的、場所的にみて、誘かいの被害やそのほかの事故にあうおそれの子供をみかけたときは早く帰るように注意し、できれば家まで送ってあげましょう。

昭和31年9月21日第3種郵便物認可

春原と亀崎地区で区画整理事業

住みよい町づくりのための
幹線街路や児童公園を建設

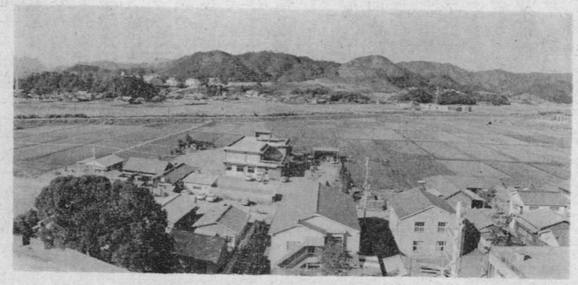
昨年の暮れから、富高の春原地区と、日知屋亀崎地区で土地区画整理事業がはじまり、住みよい町づくりのための幹線街路や区画街路、児童公園などの建設が着々すゝめられています。

これは、春原と亀崎南の両土地区画整理組合が「土地区画整理法」にもとづいて行なっているもので換地設計や換地処分、工事は組合からの委託で市が行ないます。

なお事業費は両地区で五千六百三十万円で、全額保留地の処分金があてられます。両地区のこんごの事業計画は

〈春原地区〉
①総面積＝十万五百二十三平方㍍（三万四百坪）
②事業年度＝四十四年度～四十五年度まで
③施行区域＝大字富高春原および五反の内の一部
④事業内容＝幹線街路二路線（三百六十八㍍）、区画街路十四線（二千四百九十九㍍）、児童公園一ケ所（三千十七平方㍍）、
⑤事業費＝二千二百三十万円。

〈亀崎南地区〉
①総面積＝十四万四千八百五十八平方㍍（四万三千八百坪）
②事業年度＝四十三年度～四十五年度
③施行区域＝字八升蒔、モタリ、頭無シ、別府原、向原古開、飛ノ下、無田田、下別府原、港図向原新開の全部と字向屋敷、尾達山の一部。
④事業内容＝幹線街路三路線（千二百十九㍍）、区画街路十八路線（三千四十九㍍）、公園一ケ所（四千三百五十七平方㍍）
⑤事業費＝三千四百万円。
となっています。



（写真は区画整理事業がはじまる春原地区）

高見橋が完成
工費五千四百五十万円
市内の交通緩和にも一役

高見橋が完成し、暮れの二十四日に落成式が行なわれました。

この橋は、昭和四十二年度から場大曲通線街路事業のひとつとして、三分の一の国庫補助を受けて三ケ年計画で進められていたものです。

工事費は附帯工費をも合わせると五千四百五十万円になり、延長七十六㍍で両側に一・七五㍍の歩道が設けてあります。

こんどは、この橋を中心にして、県道日向人吉線を結ぶ線と日向保健所の前を通って宮交日向営業所を結ぶ線の延長九百五十九㍍の道路を市員十六㍍に広ろげ、舗装して市街地と中原、塩見地区を結ぶ幹線道路として整備します。

なお、この道路の完成で、市内の交通混雑も大部緩和されるものと期待されます。

（写真は完成した高見橋で、奥地から本市への車両は、ほとんどがこの橋を渡る。）

国民年金あれこれ

高齢者に福高

高額の年金が受けられるチャンス

明治三十九年四月二日から四十四年四月一日までに生まれた人は、保険料をかけなくても二万一千六百円の老齢福祉年金がもらえますが、さらにたくさんの年金をさしあげて老後をより豊かに楽しく過ごしていただこうと、こんど国民年金法の一部が改正され、高齢者の再加入のみちが開かれました。

こんど加入できる人は、明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生まれたいわゆる高齢者で、国民年金が発足した当時に加入して掛ける期間の余裕がなかった人たちです。

これらの人の中には、任意に拠出制年金に加入して、保険料（全期で二万五千八百円）を十年間納入し、六十五才になったら六万円の年金をもらう資格の人もいらっしゃいますが、ほとんどが加入したことのない人、一度加入したが途中でやめられた人などで、高額年金をうける恩恵にあづかりません。

加入申し出の受けつけ期間、保険料、年金額などはつぎのとおりですから、最後のチャンスをのがさないよう、そしてみんなが高額年金で楽しい老後がおくれるよう多くの方の加入をおすすめします

▼はじめて加入する人（新規）
①加入の届け出期間＝昭和四十五年一月一日～六月三十日まで
②保険料＝月額七百五十円
③かける期間＝五年
④六十五才以上になってもらう年金額＝三万円

▼一度加入したことのある人（継続）
①加入の届け出期間＝昭和四十五年七月一日～九月三十日まで
②保険料＝月額四百五十円
③かける期間＝十年
④六十五才以上になってもらう年金額＝六万円

未納者への対策

拠出制国民年金は、一定期間に一定の保険料を納入してからでないと満額年金の受給資格はありません。

現在、保険料の未納者に対し、昭和三十六年にさかのぼって保険料を納入することができる特別な方法がとられています。

これは以前の安い保険料でもれなく納入させて、すべての加入者に満額年金の受給資格を取得させるためのものです。

未納分の納入期限は、ことしの三月三十一日までです。未納の方は早目に納入して、満額受給の資格を得てください。

さる十二月の定例市議会に、昭和四十三年度の「決算」が提出され、現在、継続審議されています。決算は一年間（四十三年四月～四十四年三月）の市の財政のしめくくりです。

市の発展にともなって、日向市の台所も年々規模が大きくなり、四十三年度の決算では一般会計で、収入十億八千三百二十七万八千円、支出十億八千三百十四万五千円と歳入歳出ともはじめて十億円の大台をこえました。

ところで「決算」は単に帳簿、帳票のしめくくりをするだけでなく、財政の内容、つまりやりくりの良否をもよく検討し、こんごの財政運営の足がかりとするものです。

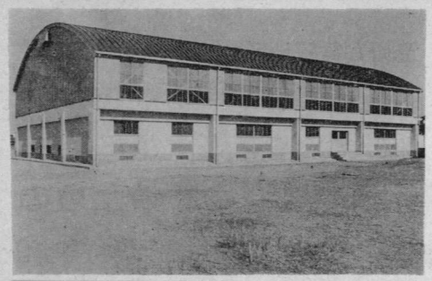
そうした意味で、四十三年度の市の台所は健全に、しかも効果的に運営されたかどうか、その内容を監査委員の「意見書」などみながらご説明します。

一般会計の決算額
初の十億円台に
全体で三千三百万円の黒字

一般会計、特別会計を合わせた総決算は、歳入が予算十三億四千四百三十万九千円に対し、決算十三億二千三百九十九万七千円で、収入率は九八・三㌫。四十二年度の決算額とくらべると一億四千七百七十万円の伸びをみています。

これに対する歳出決算は、十二億九千万円で、支出率九五・九㌫、四十二年度にくらべると一億四千二百七十四万円の伸びです。

このように歳入歳出の決算差額で三千三百九十九万円の黒字をみたことは、財政規模が大きく増しても、それに見合った堅実な財政運営がなされたことがうかがえます。では次に各会計別の内容を説明しますと。



写真は　進められた教育施設の整備。
日知屋小体育館と富中校舎

＜一般会計＞
市税は十三％の伸び
でも乏しい自主財源

一般会計の当初予算では、前年度の三・五㌫増を見込んで九億七千百万円を組みましたが、国県支出金や市債の決定にともなう各種公共事業をおしすすめる中で、七回の補正がなされ、最終予算は十一億千百九十万円となり、十八・五㌫の伸び率を示しました。

これに対する決算は、歳入総額十億八千三百二十七万八千円、歳出総額十億八千三百十四万五千円で差引き十三万三千円の黒字です。

このようにして、わずかですが黒字決算をみたことは、積極健全財政の姿勢をくずさず、つねに歳入財源の確保につとめ四十三年度の重点目標であった。

①教育環境施設の充実（人づくり）②道路交通網の整備（道づくり）③地域経済の振興と社会福祉の向上（生活向上）。

を最大限におしすすめてきた結果と思われます。

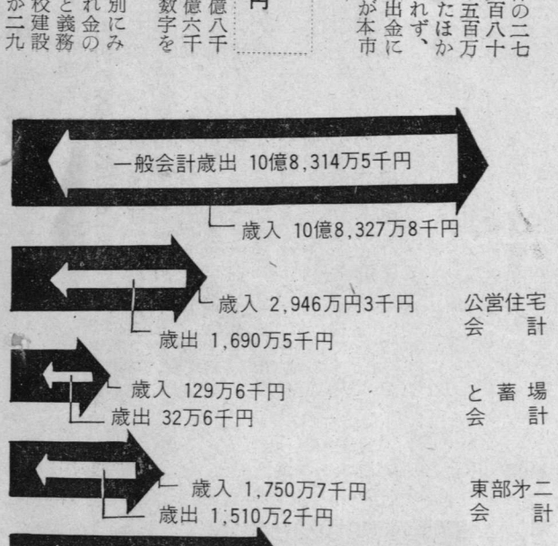
なお歳入では、市税が全体の二七・一㌫を占め、二億九千三百八十六万二千円と、前年を四千五百万円（十八・一㌫）を上廻ったほか、自主財源の伸びはみられず、やはり地方交付税や国県支出金にたよらなければならないのが本市の財政事情のようです。

建設事業に
三億一千五百万円

一般会計の歳出決算額は十億八千三百十四万と前年決算を一億六千百三十万円も上廻る大きな数字を示しています。

ではこの支出状況を性格別にみてみますと、公債費（借入れ金の返済）、人件費、扶助費など義務的な経費が五五・八㌫。学校建設や道路建設など投資的経費が二九億九千万円で、支出率九五・九㌫、四十二年度にくらべると一億四千二百七十四万円の伸びです。

このように歳入歳出の決算差額で三千三百九十九万円の黒字をみたことは、財政規模が大きく増しても、それに見合った堅実な財政運営がなされたことがうかがえます。では次に各会計別の内容を説明しますと。



市の台所運営は うまくいった でしょうか

43年度の決算

・一㌫。その他一般行政費が一五・一㌫。の割合です。

この内、投資的経費（普通建設事業費）での主な事業は、①田の原分校々舎増改築事業の一千二十五万円。②日知屋小学校屋内運動場建設の二千二十七万円。③富島中学校々舎改築工事の三千六百八十万円。日向中プール建設工事六百八十九万円。④富高通線道路改良の七百六十七万円。⑤畑浦通線舗装工事の三百万円。⑥交通安全施設整備の二百六十八万円。⑦街路事業の二千六百三十八万円。⑧都市下水路の千二百万円。⑨都市改造の四千二百万円。⑩本谷農道土地改良の八百九十二万円。⑪奥野農道土地改良などで、総額は三億一千五百二十三万円になります。

＜特別会計＞

◇公営住宅◇

公営住宅特別会計では最終予算額二千九百十四万千円に対し、歳入決算は二千九百四十六万三千円歳出決算は千六百九十万五千円で差引き千二百五十五万八千円の黒字決算。

◇東部第二土地区画◇

最終予算千六百万三千円に対し、歳入決算千七百五十万七千円。歳入決算千五百十万二千円で差引き二百四十万五千円の黒字。

◇と　畜　場◇

最終予算三十八万五千円に対し、歳入決算は百二十九万六千円。歳出決算は三十二万六千円で九十七万円の黒字決算。

◇国民健康保険◇

最終予算一億六千五百九十七万六千円に対し、歳入決算は一億七千十五万二千円。歳出決算一億五千七百八十五万九千円で差引き千二百二十九万三千円の黒字。

◇農業共済◇

最終予算二千八十九万九千円に対し、歳入決算二千二百三十万円。歳出決算千六百九十七万千円で五百六十二万九千円の黒字決算。

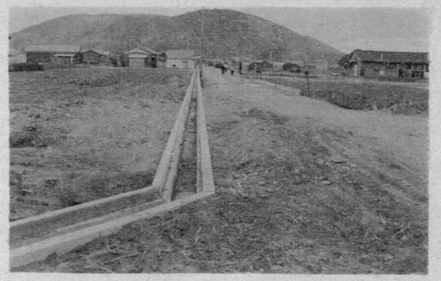
このように、五つの特別会計についても健全な財政運営がなされ、総計で三千三百八十五万五千円の黒字を生んでいます。

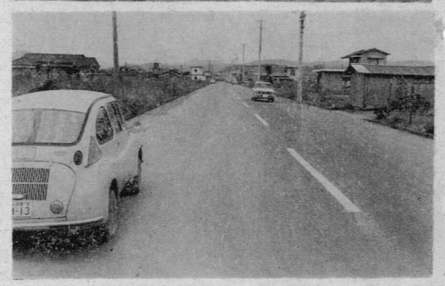
＜監査委員の意見＞

四十三年度の一般会計、特別会計の決算内容をみてみると、各会計にわたり困難な財政をよく調整克服し黒字決算をなしとげたのは、つねに財源確保につとめた当局、予算の適正執行を期した議会、そして市民のご協力の結果によるものと思う。

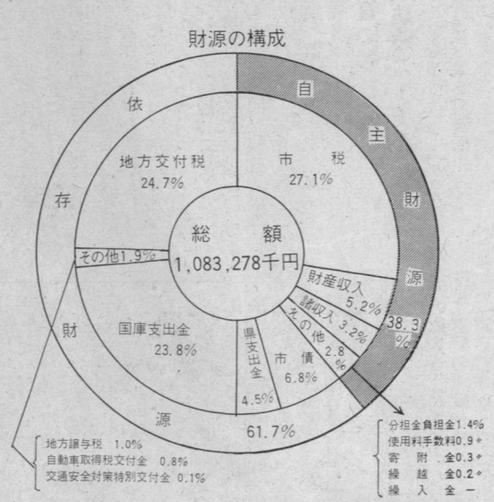
しかし、年ごとに高まる国民生活の態様と社会情勢に起因する経常費の増加は必然的に本市の財政を圧迫しつつあり、こんごますますきびしい財政事情が予想される。

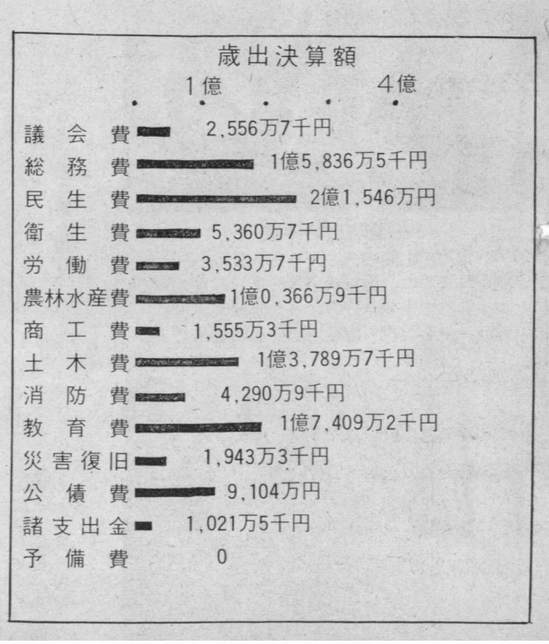
「住みよい街づくりと同時に、新産業都市としての脱皮をめざす活発な都市行政をすすめるためには、なお一層の財源確保が必要でありの確実な予算の編成と執行の厳正を期しながら健全財政をつらぬき住民の期待に応えるべきである…」と結んでいます。





写真は整備された市内の道路網＝日知屋地区





おしらせ

ご存知ですか
小口融資制度を

中小企業の小口融資制度があるのをご存知ですか。この制度は事業経営上必要な運転資金や設費資金を中小企業のみなさんにお貸しするものです。

融資限度は一企業者一口五十万円以内で、融資期間は三十ヶ月以内です。

償還方法は一括または分割償還で利子は年八分以内。保証人が一名以上必要です。

この制度の対象になる企業は、市内に住所のある個人または法人企業であること。借入れ申し込みのときまでに引きつづき一年以上市内で商工業を営んでいる人。信用保証協会で取扱う保証対象業種に該当すること。申し込みのときまでに納期のきている市税など納入していることなどが条件になっています。

申し込みはいつでも受けつけますからご希望の方は市商工水産課または商工会議所までお申し込みください。なおくわしいことも同係へどうぞ。

火薬取り扱い者の試験

甲種、乙種の火薬取り扱い保安責任者の試験が次のとおり行なわれます。受験ご希望の方は早目に受験願書をご提出ください。

▽試験日＝二月八日
▽場所＝宮崎市丸山宮大教育学部
▽試験科目＝火薬取り締りに関する法令、一般火薬学
▽受験手続＝県工鉱課または東臼杵農林事務所（延岡市）にそなえつけの願書に受験手数料七百円と履歴書一通、戸籍抄本一通、写真二枚をそえて、一月二十日までに県経済部工鉱課に提出すること。

自衛官募集

心身の鍛練と技術の修得を自衛隊生活で…。

資格＝十八才から二十四才までの男子。

志望＝陸海空の種別はあなたの希望によります。

給与＝二万五百円、衣食住いっさい支給でその他に手当があります。

賞与＝年三回、四・五ヶ月分

退職手当＝満期時（二年）に約八万円支給されます。また永続勤務を希望する人は引きつづき任用されます。

退職者には自衛隊で就職をあっせんします。

ご希望の方は市役所市民生活課、または自衛隊宮崎地方連絡部延岡出張所（電話二―二三八七）までお申し込みください。

引揚げ者国債の買い上げ

引きあげ者に対して交付された国債を国が買いあげる制度があります。国債を一時金にかえたい方は市福祉事務所厚生係に申し込んでください。

▽買いあげ期限＝一月三十一日まで、ただし買いあげ割当額がなくなれば期限前でもしめ切ることがあります。

▽買いあげ率＝残存賦札の約七割八分（例えば十万円券の場合は二枚とってありますので残存額が八万円で、これを六万二千百円で買いあげます）

▽買いあげ限度＝一記名者十二万円までで一回限り。

ご希望の方は国債と印かんをもっておいでください。

ネズミをとってカラーテレビを

ねずみによる被害は、伝染病や食中毒などの衛生上の被害だけでなく、経済的な損失もはかり知れないものがあります。

ことしも、このねずみを退治して住みよい郷土をつくろうと、県下一せいに「ねずみとり運動」が行なわれます。

要領は次のとおりですから、よろしくご協力ください。

実施期間＝二月一日から二十八日までの一ヶ月間

ねずみくじの発行＝期間中捕殺したねずみ一匹についてカラーテレビなどが当る宝くじを差しあげます。

駆除剤のあっせん＝ねずみの駆除剤を市補助つきであっせんします（百g入り二十五円）。

区、班、事業所ごとにとりまとめて市衛生課までお申し込みください。なお駆除方法は薬剤、器具など問いませんが人畜畜に被害を及ぼさないように注意してください

くじは三月二十日に抽せんしますが、当りくじは四月五日までに申しでてください。また期間中の駆除運動で団体、個人の表彰も行なわれます。

水道管にも防寒コートを

毎年この時季になりますと、市内の水道管が凍って破裂するといった被害が多くなります。

とくに朝、凍っている水道管にお湯をかけて早く水を出そうとしますと、必ずといっていいほど破裂します。

これからまだまだ寒くなり、このような被害が多くなりますので次の点にご注意ください。

①凍った水道管には絶対お湯をかけないこと。

②露出している水道管には、布やナワなどを巻いて寒さを防ぎ、凍らないようにしてください。

③水道管の埋設が浅いときは、その部分にさらに盛土をするか、むしろや板などをのせても効果があります。

④水量メーターもよく破損しますこれにも布などの防寒コートを着せてやりましょう。

話題を追って

――電話5万台を突破――

県内の一般加入電話の個数が先月5万台を突破しました。ちようど5万台目にあたったのは市内旭通りで美容業を営んでいる原さんでこの日は、児玉市長、沖江商工会議所会頭らが記念祝賀通話をしました。

――消防出始め式――

恒例の市消防出始め式は、さる5日富小グランドで開かれました。当日は小雪のまじった天気でしたが、それでも気合いのはった訓練がみられ、市中パレードしたのち塩見川で一せい放水しました。

人口　45年1月1日現在

男	22.735人
女	24.958人
総数	47.693人
世帯数	12.291世帯